



東京日々新聞

九百一十一号



たゞ驚ハ喜
 ぞ有り合ハ
 せの全銀のこら
 差出まゝと大聲
 ふふととと菊藏
 ぞりて立て傍らふ有
 籃笥の引出しと明子と見え
 突然白刃のぬつて賊の鼻先へ突つけ
 名れば賊のその不意あるよやと落さ
 けん周章して遁去して

三田四国町一番地に住る佐倉菊藏不
 から座りたる男ありて去る十四日の夜八時
 とき強盗三八あり入り其ら二八ハ三尺餘乃
 長刀と帯



萬齋
 芳幾

駿具足屋
 渡辺彫栄

